

壬生町コミュニティバスの運行について

1 概要

令和5年2月より実証運行を開始した壬生町コミュニティバスは、壬生町役場を始発として町内を循環する町循環線4系統（北回り・南回りの循環方向による別、及びおもちゃ博物館経由有・無による別）及び壬生駅～壬生高等学校間を結ぶ壬生高線2系統（壬生町役場発・壬生駅発）の合計6系統からなる路線バスである。

2 運行便数

壬生町内循環線 平日：10便 土日祝日：10便 （12/29～1/3は運休）

壬生高線 平日：8便

（12/29～1/3、土日祝日及び壬生高等学校長期休業期間は運休）

3 利用実績

（1）壬生町内循環線の輸送人員及び乗車密度

令和5年2月～4月の実績として稼働日数74日、輸送人数1,167人となり、一周の経路長が27.7kmであることから、平均乗車密度は、0.57人/日km（※）となる。

4半期相当期間の運行を実施したところ、町循環線の利用者は増加傾向にはあるが、目標としている平均乗車密度となる2.2人/日km（平均乗車率6割）までは到達しておらず、周知や住民への浸透度の向上が必要と考えられる。

（2）壬生高線の輸送人員及び乗車密度

令和5年2月～4月の実績として稼働日数46日、輸送人数1,371人となり、一周の経路長が2.4kmであることから、平均乗車密度は、12.4人/日km（※）となる。4半期相当期間の運行を実施したところ、壬生高線の利用者は増加傾向にはあるが、目標としている平均乗車密度となる110人/日km（平均乗車率6割）までは到達していない状況である。4月の学生定期券販売実績は36件（1ヶ月定期券6件、3ヶ月定期券30件）であった。5月より実施を開始した定期券の学校敷地内販売を含め、定期券による利用及び継続的な収入の増加に努めたい。

※平均乗車密度は、1日1kmあたりの乗車人数を指標としたものであり、壬生町コミュニティバスでは、一律運賃を適用しているため、以下の計算式で算出する。

$$\text{（平均乗車密度）} = \frac{\text{乗車人数（人）}}{\text{運行日数（日）} \times \text{1便の経路長（km）}}$$

4 今後の見通し

(1) アンケート調査の実施

これから町コミュニティバスを公共交通の一つとして浸透させていくため、また、住民満足度を向上させるために、アンケートの実施及び反映を行っていく。アンケートは、利用実態に即した調査を行うため、コミュニティバス利用者を対象とし、利用者層の把握やルート検討材料等に活用する。

アンケート実施期間	: 令和5年7月1日(土)～7月31日(月)
アンケート回収期間	: 令和5年8月31日(木)まで
アンケート結果報告	: 第2回地域公共交通会議で報告予定

(2) 運行ルート等の見直し

アンケート結果やその他の要望等を踏まえ、ルートの見直しを行う。ルートの見直しについては、下記スケジュールをベースに検討する。

見直し案の作成	: 令和5年8月
見直し案の調整	: 令和5年9月～10月中旬
地域公共交通会議への上程	: 令和5年10月下旬～11月上旬
21条(実証運行)申請	: 令和5年12月上旬
修正ルートの適用	: 令和6年2月16日(金)